

大学名：福岡教育大学

ASPUnivNet の 4 つの機能他	評価項目	事例記述
1. 学校のユネスコスクール加盟を支援します（加盟に関する相談も含む）	① ユネスコスクール加盟を希望する地域の学校から相談があったときにそれに応じることができた。	加盟を希望する学校に対して、ユネスコスクールの趣旨を説明し、チャレンジ期間終了にあたり提出する報告書について、求められる活動ができるかどうか、要件を満たせるかどうかを確認してもらい、チャレンジ期間終了後スムーズに申請へと進むことができるように早期より情報提供などを行った。
	② ユネスコスクール・チャレンジ期間実施校に対する相談に応じることができた。	チャレンジ期間中に取組の報告があった学校に対しては、適時適切な指導助言を行った。
	③ 地域の加盟済のユネスコスクールに向けて ESD/SDGs をリードする学校としての「質の向上」にかかわる支援を行うことができた。	ユネスコスクールを抱える教育員会の研修事業では、これまでの取組の総括を行ってもらい、成果と課題を整理して、さらなる発展的取組を提案し、質の向上に貢献した。
2. 大学の持つ知的財産をユネスコスクールの活動に提供します	① 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールに向けた支援（資料提供やコーディネート、出前授業やワークショップなど）を行うことができた。	地域のユネスコスクール等とのシンポジウムの中で、大学の知的資源を活用した支援（講演等）を行った。
	② 研修会やワークショップを地域のユネスコスクールと協働して開催することができた。	地域のユネスコスクールとシンポジウム等を共催した。
	③ 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールと協働で教材やモデルプロジェクトを開発することができた。	ユネスコスクールを抱える市町村教育委員会において、ESD ステークホルダー連携モデルプロジェクトの実施に際して知見を提供した。
3. 地域の教育機関とユネスコスクールとの連携を促進します	① 地域のステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	本学が包括連携協定を締結している J I C A 九州との取組にあたって、ユネスコスクール支援大学としての役割を理解していただき、ユネスコスクールの存在や意義について説明し、学校への支援に際して協力を依頼した。
	② ユネスコスクールと地域の多様なステークホルダーとを結びつけることができた。	ユネスコスクールにおける国際理解学習の展開にあたり J I C A 九州の資源が活用できるように調整した。また、ユネスコスクール地方ブロック大会では九州地方 ESD 活動支援センター企画も同時開催し、ユネスコスクールとの関係強化に努めた。
	③ ユネスコスクールに関連した地域教育委員会との連携や地域における大学間の連携を促進することができた。	大牟田市教育委員会との連携を継続しており、本年度もイベントを開催した。

4. 国内外のユネスコスクールとのネットワークづくりを支援します	① 地域をこえた国内外の多様なステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について知らせることができた	ユネスコスクール全国大会等を通じて、多様なステークホルダーとユネスコスクールの存在や意義についての理解を共有することができた。
	② 地域をこえた国内外のユネスコスクールと協働で活動することができた。	福岡県に留まらず、宮崎県、鹿児島県のユネスコスクール（キャンディデートを含む）と連携した取組を実施した。
	③ ユネスコスクールがグローバルな活動することについてそれを支援することができた。（例：ユネスコスクールの国境を越えた交流、海外とのオンライン交流、海外のプロジェクトへの参加など）	ユネスコスクールの生徒に対してグローバルな活動の意義を含めた講演を行った。
5. 大学内の活動	① 大学内でユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	本学授業科目「持続可能な開発のための教育」において ESD の推進拠点としてのユネスコスクールの存在とその活動について説明した。
	② 学部大学院の教育課程でユネスコスクールにかかわる教育を行うことができた。	学部における授業科目「持続可能な開発のための教育」では、ESD の推進主体となっているユネスコスクール活動について紹介した。
	③ 調査研究活動でユネスコスクールに関連した調査研究を行うことができた。	ユネスコスクール支援大学としての本来の業務とは直接的に関係しないことから行っていない。
	④ その他	特に無し。
6. ASPUnivNet のネットワーク機能の活用	① 加盟大学間で情報共有ができた。	次期運営委員大学を務めるにあたって、加盟大学が抱える問題や課題について共有することができ、今後の運営において有意義であった。
	② 加盟大学間で連携した取組ができた。	奈良教育大学が九州地方で行っている取組の補完を行った。
	③ その他	特に無し